

Linux Kernel 2.6.8.1 の
インストール方法
-Why 編-

2004/08/29

奥山 健一

Why: なぜ Kernel を自分でビルド?

- Fedora Project でも新しい kernel を提供してくれるのに?
- 新しい Fedora Core がでてくるのに?

kernel をビルドする理由

- Fedora Project でのサポートが終わった場合
- Security Hole が見つかった / バグがある
- 欲しい機能が Fedora Core 提供 Kernel にな
い
- 新しい Kernel を試してみたい

Fedora Project でのサポートが 終わった場合

例) 各 release の寿命は 6 ~ 8 ヶ月 (distro
の中でも最短の寿命しかない)

- FCn に対し、FC(n+2) の test1 がでた段階
でサポートは切れる
- サポートは Fedora Legacy へ移行
- FC1 のサポートは 9/13 に切れます
- Fedora Legacy にはサポートスケジュール
はない =

サポートがいつ切れても不思議じゃない

それでも FC1 を使い続けたいなら、
自分で管理するしかない

Security Hole が見つかった

例) 6月にkernelのバグが発見

- Pingは応答がある
- プログラムは動かない状態
- CERT Advisoryがでたときに、Vanilla Kernelは2.6.7で対応していた
- FC1,2はアナウンス後48時間以上対応がなかった
- 「いつまでに対応するのか」の指針もない

**正式 update がでるまでの
つなぎの kernel が必要**

欲しい機能が Fedora Core 提供 Kernel にない

例) Fedora Core1, Core2 には NTFS サポート
がない

- Vanilla Kernel のサポートは正規版に
なったのに、意図的に落としてある
(政治的・司法的判断?)

例) 自分が持っているデバイスが新しすぎ
て、最新 Vanilla Kernel しか対応していな
い

などなど...

**欲しい機能を on にした kernel を
自分で作れば問題は解決する**

新しい Kernel を試してみたい

Fedora Core は「開発者のための distro」

- kernel 開発者にとってもやさしい
- いくつもの kernel が互いに矛盾なくインストールできるようなファイル配置になっている
 - SuSE なんかは kernel build をすると、既存の起動 kernel を置き換えてしまう

同じ環境に kernel を何種類も用意できる
Fedora が kernel 実験にはベスト

まとめ

- Fedora を使う場合、Kernel ビルドは覚えておく と 便利な技能
 - Fedora Project でのサポートが終わった場合
 - Security Hole が見つかった / バグに対応したい
 - 欲しい機能が Fedora Core 提供 Kernel にない
- Fedora は新しい Kernel を試してみるのによい環境

**Kernel のビルド方法を覚えて
自分の環境用 kernel を作ってみよう**